

# 花火の作り方をのぞいてみた！

## 2. 星掛け



回転する星掛け機で花火の素となる「星」を大きくします。中まで確実に乾燥させるため、天日干しを挟みながら2週間以上かけて慎重に、花火の種類に応じた最適な大きさまで育て上げます。

## 1. 配合



火薬の原料である酸化剤・可燃剤・色火剤を正確に計量し、ふるいにかけて均等になるまで手で混ぜ合わせます。粒子が細かいため、マスクとゴーグルを着用して慎重に作業します。

## 4. 玉貼り



玉込めが終わった花火玉にクラフト紙を均等に貼り密着させ、天日に干す工程を何度も繰り返して、最後に持ち手を取り付け、花火の中身を表す玉名を書き入れることで、ようやく花火玉が完成します。

## 3. 玉込め



半球の容器へ親星・割薬・芯星を、中心がズレないように定規やピンセットで精密に配置して詰め込みます。半球同士を素早く合わせたら、叩いて中の配置を整え、テープで固定して仕上げます。

### 花火師に聞いた 花火の豆知識！

#### ・花火の製造期間は？

夏に花火大会が終わると、10月ごろから製造に取り掛かります。製造から打ち上げまで、年間を通して行っています。

#### ・花火大会は曲のようになっている！

緩急や色合いを計算した音楽プログラムのような物語性を持っています。

#### ・花火の色に注目！

江戸時代の「だいだい色」から、明治から昭和で赤・青・黄などの「原色」へ、現在は紫・ピンク・水色などの「パステルカラー」まで劇的に進化しています。

### 紀宝町花火大会実行委員会

くらまえ ふとし  
**倉前 太** 実行委員長



紀宝町花火大会は、平成18年の町村合併直後から実行委員会が発足し、以来開催を続けてきました。花火大会の規模は大きくはありませんが、周囲に明かりが少なく一発ずつ打ち上げるため、それぞれの花火をきれいに観ることができます。この花火大会は、実行委員のみなさんをはじめ、多くの地元のみなさんに協力していただき開催しています。地元のみなさんが自ら作り上げた温かみのある花火大会なので、これからも続けていきたいと考えています。ぜひ会場でその雰囲気を感じてください。最後に地元企業様をはじめ、多くの方から協賛金をいただいています。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

## 紀宝町花火大会

紀宝町花火大会は、約700発の打ち上げ花火が鵜殿港の夜空を鮮やかに染め上げる、紀宝町の夏の風物詩です。この花火大会最大の魅力は、観覧場所と打ち上げ場所が非常に近いことです。頭上で花火が咲き誇る迫力満点の光景を間近に楽しむことができます。今回は夜空を彩る花火をより深く楽しむための情報をお届けします。

【日時】 8月15日（土）午後7時から  
※花火打ち上げ開始は午後7時30分ごろ  
※雨天の場合は16日（日）に順延  
※16日も雨天の場合は中止  
【場所】 鵜殿港

特集 紀宝町花火大会  
夜を彩る夏の風物詩